

# 私だけの卒業アルバム

## 少子化で縮む市場、満足度で勝負

小中高校の卒業に合わせ、生徒が受け取るアルバムが進化している。アルバム印刷で国内首位のダイコロ（大阪府枚方市）は、修学旅行などの学校行事をベースにしながら、一人ひとりに焦点を当てた写真を載せるアルバムの比率を5割に高める。同業のマツモトは生徒が写真を選べる卒業アルバムを提案する。所有者の思い出が際立つ1冊で少子化に伴う市場の縮小に対抗する。

「当社が目指す卒業アルバムを本格的に供給できる体制を整った」。年80万冊以上を手掛けるダイコロの松本秀作社長は笑顔で語る。笑顔の理由に開発を依頼したデジタル検品システムの完成にある。松本氏はこのシステムを使い、どこが印刷



ダイコロは新開発のデジタル検品システムが卒業アルバムのパーソナライズ化に役立つとみる（大阪府枚方市の本社工場）

### ダイコロ 1ページ独り占め マツモト 生徒自ら写真選ぶ

を請け負っても画一的になりがちな卒業アルバム市場を、変えたいと訴える。

**個性見えやすく**  
少子化でパイが縮む市場は競争が激しい。ダイコロの2023年度の卒業アルバムあたりの平均出荷額は03年度より2割安くなった。ダイコロは約2億冊の印刷機を複数導入し、画質が良くなるよう努めているものの、一般の人には分かりにくい。同業がパイを奪い合

い、価格下落が続く。卒業アルバム市場を勝ち抜くには「パーソナライズに全力を注ぐしかない」と松本氏は強調する。一般的な卒業アルバムは卒業を祝うに控えた春先に校内の制作委員会が立ち上がり、内容を決める。修学旅行や運動会といった学校行事に同行する地元の写真館が撮影した画像が多く盛り込まれ、生徒全員が同じアルバムをもらうことが多い。これに対し、ダイコロは数年前から一人ひとりに焦点をあてる卒業アルバムを幼稚園や学校に提案する。例えば、指定された1ページの写真を1ページのみにする。1ページの全面にポートレートが使われ、園児や生徒ごとに異なるページになる。見開き2ページにクラス全員の顔写真を載せる標準的な

### 小さくても勝てる

卒業アルバムに比べ「満足度が高まる」（ダイコロ）。ダイコロに委託する私立・同志社中学校（京都市）は生徒一人ずつのポートレートに加え、1ページを9分割（年によって変動）して生徒9人（同）ずつの写真を掲載するページを4.5ページ設ける。生徒が好きなポーズ、好きな服装で撮った写真が載る。

2社で卒業アルバムの国内印刷の約半分を担う		
ダイコロ	【社名】	マツモト
1953年	【創業】	1932年
大阪府枚方市	【本社】	北九州市
284人	【従業員】	181人
約8900校	【顧客】	約7000校
年約82万冊	【印刷数】	年約60万冊
3割弱	【シェア】	約2割

（注）数字は日経取材。シェアは出荷ベース、顧客は主に幼稚園、小中高校、大学

今後は教団を投げ完成させたデジタル検品に切り替える。印刷と同時に不具合の有無をシステムが判定する。デジタル検品ならば社員に負担をかけず、幼稚園や学校の要領に沿ったパーソナライズ化が可能とみる。足元5%程度のパーソナライズ化された卒業アルバムの比率を一20年までに50%に

引き上げる」（松本氏）を積極的に提案する。デジタル化進むマツモトの松本氏は紙のアルバムについて「卒業生は写真をスマホで見ると生活習慣と距離を感じ、教職員も集金の作業などの負担を感じてい返ったり、卒業後も友達や恩師と交流したりできる機会も狭まる。25年から卒業生が在学中から卒業アルバムに載せる写真をインターネット上で自分で選んで管理する仕組みを

同社中学校の沼田和世教頭は「一人ひとりの個性がみえるバラエティーに富んだ構成が保護者から好評だ。大人になって壁にぶつかると、アルバムを見て自分を再確認してもらえたら」と教員の将来に思いを寄せた。

これまでダイコロは社員が卒業アルバム1冊ごとの検品、かすれやじみなどの不具合がないか確認していた。パーソナライズ化すると写真数が増え検品の手間が増すため、人手不足のなか大胆に逃げられない課題があった。

松本氏は「部活動」のページを作るとか、私立の学校なら全員共通の卒業アルバムとは別に生徒ごとに作る冊子をつくるというアイデアが考えられる」と話す。卒業市場でデジタル検品に移行する余力がある印刷会社は限られるとして、25年度の受注は「世界に一つだけの卒業アルバム」をテーマにしたデジタル卒業アルバムを重点的に提案する。

マツモトの松本氏は紙のアルバムについて「卒業生は写真をスマホで見ると生活習慣と距離を感じ、教職員も集金の作業などの負担を感じてい返ったり、卒業後も友達や恩師と交流したりできる機会も狭まる。25年から卒業生が在学中から卒業アルバムに載せる写真をインターネット上で自分で選んで管理する仕組みを

マツモトの松本氏は紙のアルバムについて「卒業生は写真をスマホで見ると生活習慣と距離を感じ、教職員も集金の作業などの負担を感じてい返ったり、卒業後も友達や恩師と交流したりできる機会も狭まる。25年から卒業生が在学中から卒業アルバムに載せる写真をインターネット上で自分で選んで管理する仕組みを

マツモトの松本氏は紙のアルバムについて「卒業生は写真をスマホで見ると生活習慣と距離を感じ、教職員も集金の作業などの負担を感じてい返ったり、卒業後も友達や恩師と交流したりできる機会も狭まる。25年から卒業生が在学中から卒業アルバムに載せる写真をインターネット上で自分で選んで管理する仕組みを

マツモトの松本氏は紙のアルバムについて「卒業生は写真をスマホで見ると生活習慣と距離を感じ、教職員も集金の作業などの負担を感じてい返ったり、卒業後も友達や恩師と交流したりできる機会も狭まる。25年から卒業生が在学中から卒業アルバムに載せる写真をインターネット上で自分で選んで管理する仕組みを

マツモトの松本氏は紙のアルバムについて「卒業生は写真をスマホで見ると生活習慣と距離を感じ、教職員も集金の作業などの負担を感じてい返ったり、卒業後も友達や恩師と交流したりできる機会も狭まる。25年から卒業生が在学中から卒業アルバムに載せる写真をインターネット上で自分で選んで管理する仕組みを

マツモトの松本氏は紙のアルバムについて「卒業生は写真をスマホで見ると生活習慣と距離を感じ、教職員も集金の作業などの負担を感じてい返ったり、卒業後も友達や恩師と交流したりできる機会も狭まる。25年から卒業生が在学中から卒業アルバムに載せる写真をインターネット上で自分で選んで管理する仕組みを